

授業科目	*実践英語音声学 I				単位	2		
履 修	必修	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語) 日本語教員		ナンバリング	EN11101J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-2			
担当教員	太田 かおり							
授業概要	実践英語音声学 I では、英語の母音・子音、リズム・イントネーションに関わる英語音声の法則全般について解説する。母音や子音の正しい発音のみならず聞き取りもできるようになることを目指し、両面における実践的な指導を行う。調音点や調音方法を理解し、その発声方法を訓練することによって、自らが英語音声をより正しく発音できるようになることを目指す。さらに、英語音と日本語音の比較を通じて、言語間の音構造の違いについても理解を深める。英会話表現や洋楽の歌詞などを通じて、英語特有のリズムや音声的特徴の基本についても楽しく学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	①英語の子音の調音点や調音方法について学び、日本語の子音との違いを理解できるようになる。 ②英語の母音の発音方法について学び、日本語の母音との音色の違いを理解できるようになる。 ③英語の子音と母音を実際に練習して、正しく聞き取ったり、発音できるようになる。 ④国際音声表記(IPA)を使って表記したり、IPA表記を読むことができるようになる。 ⑤英語と日本語のリズムの違いを理解し、英語の音変化の基本的な特徴について理解できるようになる。 ⑥英語の音変化を実際に練習し、正しく聞き取ったり、発音できるようになる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	50	0	10	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	0	20	50		10	20	100	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
①英語の子音の調音点や調音方法について学び、説明できる。 ②英語の母音や子音を自らがより正確に発音できる。 ③国際音声表記(IPA)を使って表記したり、IPA表記を読むことができる。 ④英語特有のリズムや音声的特徴について理解し、説明できる。 ⑤英語音の聞き取りや発音のコツを理解し、日常英語で自然に活用することができる。				①英語の子音の調音点や調音方法について学び、理解する。 ②英語の母音や子音を自らが発音できる。 ③国際音声表記(IPA)読むことができる。 ④英語特有のリズムや音声的特徴の基本について概ね理解している。 ⑤英語音の聞き取りや発音のコツを理解し、日常英語で活用を試みることができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	授業ガイダンス／音声学とは？／音声器官と音の分類	講義・演習	本時の復習	100
2	英語の子音(1) 閉鎖音・鼻音／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.18-21 の予習	100
3	英語の子音(2) 摩擦音／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.22-23 の予習	100
4	英語の子音(3) 摩擦音・破擦音／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.23-25 の予習	100
5	英語の子音(4) 測音・半母音／綴り字と発音／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.26-29 の予習	100
6	英語の母音(1) 前舌母音・後舌母音／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.4-9 の予習	100
7	英語の母音(2) 中舌母音・二重母音／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.10-13 の予習	100
8	英語の母音(3) 二重母音／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.14-15 の予習	100
9	音節と語強勢・文強勢／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.32-35 の予習	100
10	ポーズ、ピッチとイントネーション／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.36-39 の予習	100
11	音のつながり(1) 連結(linking)その 1／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.40-43 の予習	100
12	音のつながり(1) 連結(linking)その 2／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.40-43 の予習	100
13	母音・子音に関する総復習／課題レポートの提出	講義・演習	テキスト p.4-27 の復習	100
14	リズム(強勢／連結)に関する総復習	講義・演習	テキスト p.29-43 の復習	100
15	総括・質疑応答	講義・演習	これまでの授業およびテキスト p.4-43 の総復習	100
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1. 日本語や英語の音声の違いに関する興味・関心 2. 英語の母音・子音に関する概観 3. 英語の発音記号に関する概観 4. 英語のアクセント・リズム・イントネーションに関する概観			
テキスト	今井由美子／井上球美子 他共著（2020年）『英語音声学への扉—発音とリスニングを中心に—』【改訂版】 Sounds Make Perfect DVD付（ISBN: 978-4-269-63014-7）本体 2,400円＋税			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	英語耳をつくるためには、いろいろな英語の音声に慣れる必要があります。そのためには、テレビ・ラジオ・インターネット・映画などを有効に活用して下さい。また、問題を解くという意識を捨て、可能な限り英語を聞き、使ってみる努力をしましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	[達成度評価に関するコメント] ①レポート課題(40%)…期末課題レポート ②小テスト(20%)…小テストや授業課題への取り組み ③レポート以外の提出物(20%)…授業毎に記入の振り返りシート ④その他(20%)…授業中の音声レッスンや授業への積極的な参加態度 ※上記①～④を総合的に評価する。 [課題に対するフィードバック方法] 毎回の授業終了後に学生は振り返りシートを提出し、質問事項等がある場合については次回以降の授業にて全体または個別にフィードバックを行う。小テストについては、チェック後に後日フィードバックを行う。			

